



今月は、通所介護とグループホームの運営推進会議が行われました。通所介護は半年に1度、グループホームは2ヶ月に1度、利用者、ご家族、地域の方々、行政職員などにお集まり頂き、事業所施設での取り組み等をお伝えする機会を設けています。お集まり頂いた皆様に、ご意見、ご助言を頂き、より良い事業所作りに努めております。



グループホームの皆さんは、野菜の栽培、収穫はもちろん、今月は、サラダほうれん草や人参の袋づめもしました。また、袋詰めした野菜は職員におすそ分け。利用者・職員のコミュニケーションの輪が広がりました。野菜に触れると表情もイキイキしているように見えます。



- ・助六寿司
- ・ふきとがんもの煮物
- ・牛乳寒天
- ・赤だし



ひな祭りメニュー

- ・散らし寿司
- ・刺身とこんにゃくの盛り合わせ
- ・すまし汁
- ・イチゴパバロア
- ・桜もち・甘酒

随 ずっとわばし

私は現在“禁煙10ヶ月”経過中です。40年近くの愛煙家でした。妊娠から子育て中も禁煙出来ない程に意思が弱く、たばこの誘惑に負けてばかりで「私には一生禁煙は無理だろうな」って思い込んでいました。特に差し迫って禁煙しなければならない理由も無く、只々喫煙の年数だけが積み重なっていました。そんな私が禁煙に至った経緯はとてもシンプルでした。2年前に息子が意を決してマイホームを建てました。残念ながら結婚ではないんです。あくまで自分の趣味に没頭出来る場所を確保する為なんです。私も、20年間生活した場所を離れ、そこに一緒に移り住みました。生活環境の変化は思ったよりも負担が大きく、精神的にも身体的にもストレスが徐々に蓄積していきました。この流れまで読むと体調を崩し禁煙したのでは?と思われる方もいるかと思いますが、違うんですよ。月日を重ねるうちに知らず知らず慣れて、生活リズムも整いだし新しい場所の良さなども発見出来たりと、ストレスを感じることも減っ

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。今月は元亀の里の森 美紀さんです。

ていきました。つくづく、人は慣れていく者なのだ改めて感じさせられましたね。そんなこんなで1年が経った頃、息子からいきなりの禁煙宣言を聞かされたのです。まあ驚きました。息子も喫煙を始めてからこの日まで一度も禁煙した事ないんです。私にまで禁煙を強要したりはしませんでした。あくまで自分は止めるけど吸っていいのだと言われました。彼なりの優しさもあったのでしょうか。が、事はそう簡単ではありません。それなりの喫煙期間があった彼の禁煙を応援したい気持ちと、同じ空間で喫煙する事での後ろめたさで自分の喫煙が楽しくなくなってきたのです。結局、彼の宣言から1ヶ月後には私の禁煙が始まりました。息子が吸い出したら私も…。位の結構軽い感じで始めましたが、思ったより息子の意思が強く現在に至っている次第です。今は特に喫煙へのこだわりなどはなく、逆にこの年(60手前)で禁煙出来て良かったと息子に感謝してますね。禁煙に興味がある方の参考までに…。体重は増えます…。



せいひ会だより

2025年(令和7年)
4月1日発行
〈第210号〉
社会福祉法人せいひ会
http://www.seihikai.jp/



3月3日、ひな祭り。各事業所では、ひな人形の作成やひな祭りの歌を歌い、美味しい甘酒と桜餅でお祝いしました。「昔は、娘の為に盛大に祝ってあげてたよ。」という人もいれば、「毎日の食べ物にも苦労してたから、お祝いしてあげることが出来なかった。」という人も。一人一人色んな人生があり、楽しいことも苦労したことも今は思い出として、こういった行事の度に聞かせてくれるので、ふと感じることは、私たちは、今年の今のひな祭りを祝っているだけではなく、過去のひな祭りを背景と一緒に祝いしてるんだなと思うのでした。

3月の行事

- 3日 ひな祭り(各事業所)
- 11・15・28日 誕生会(通所介護)
- 下旬 花見(通りハ・通介・風和)

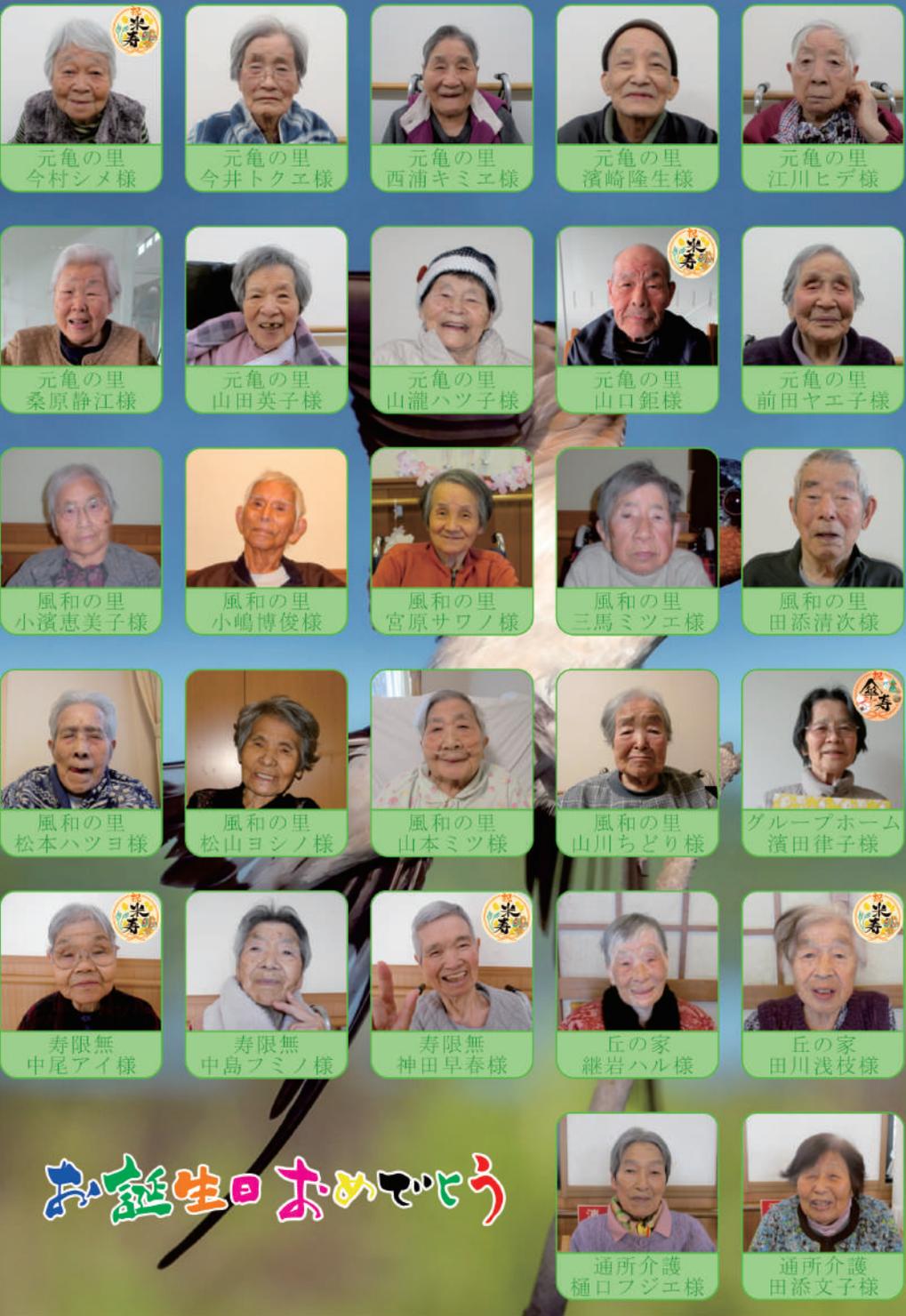


4月の行事予定

- 上旬 花見(通りハ・通介・風和)
- 16日 誕生会(通所介護)
- 22日 誕生会2(通所介護)



年末に琴海中学校の生徒さんが年賀状を書いて持ってきてくれたのですが、そのお返事で入居者のみなさんと卒業おめでとうのお手紙を書き、琴海中学校にお届けしました。入居者の皆さんは、毎年届く、琴海中学校の生徒さんの年賀状をととても楽しみにされていて返事を書く時も「これからがもっと楽しみね」と嬉しそうに話しながら筆をすすめました。



お誕生日おめでとう



パーソナルインタビュー

通所介護 前島 実様

昭和13年3月11日に長崎市の稲佐で5人姉弟の5番目に生まれました。姉4人の中に男が1人で、とても可愛がられて育ったそうです。お父様が稲佐で商店をしていましたが、實様が2歳の時に亡くなり、西彼町白崎郷のいざり神で商売をしていた叔母の家にお世話になりました。昔は船便を利用した荷物が多く、海岸沿いに面したお店では、人も多く繁盛していたと話されていました。無理を言って、高校にも通わせてもらい、40歳から70歳の頃はお店をしなから、葬儀社もされていたそうです。人と関わる仕事をされていたこともあり、話し上手で、デイサービス利用時には他の利用者様や職員とジョークを交えて会話を楽しまれています。脳トレの時間では、計算問題が出ると、いち早く回答されています。最近の楽しみは、毎週木曜日に囲碁教室に行って知人と碁を打つ事だと話されました。先日は中山こども園の園児が来苑し一緒に節分行事を楽しみましたが、その中にひ孫さんが参加されていて、とても嬉しかったと話してくださいました。



風和の里 南ユニット



通所介護

LIFE is a work of ART
今月の作品紹介です。



風和の里 西ユニット



寿限無ショートステイ



通所利用者



寿限無二階



職員紹介

西浦 明子

令和5年7月より風和の里の清掃員として勤務しています。入居者様が快適に過ごせ、皆様の明るい笑顔が見られるように努力して清掃を頑張っていきます。